

「学校と地域を結ぶコンサート」を応援しています。

 <p>宮崎ブーゲンビリア空港 Miyazaki Bougen Villa Airport</p>	 <p>mrt 宮崎放送</p>	 <p>宮崎ガスグループ 宮崎ガス 宮崎液化ガス 宮崎ガスリビング 宮崎ガステクノサービス New Wel City 株式会社キング ひむかエージェンシー</p>
 <p>株式会社戸高コーポレーション 夢 〒880-0951 宮崎市大塚町京園3199番地1 TEL.0985-51-9813</p>	 <p>株式会社宮崎南印刷 Palms 月刊パームス miyazaki ebooks おまがせくろすい、黒潮文庫</p>	 <p>MSG大原カレッジリーグ https://www.msg.ac.jp</p>
<p>社会医療法人 慶明会</p>	<p>金田礼子ひふ科医院</p>	<p>デジタルタ刊 https://pre-miya.com プレみや 購読者向けに夕方配信 パソコンやスマホで無料! 宮崎日日新聞</p>
 <p>株式会社マエムラ</p>	 <p>SOLEST TAKACHIHO HOTEL</p>	 <p>何でも貸します 設置します 平和リース株式会社</p>
 <p>UMK テレビ宮崎</p>	 <p>緑のバイオニア 株式会社佐藤産業</p>	 <p>Mera Group Corporation 共立電機製作所</p>
 <p>株式会社文化コーポレーション</p>	 <p>Always Security OK ALSOK 宮崎総合警備株式会社</p>	 <p>医療法人社団 佐藤小児科</p>



学校と地域を結ぶコンサート

2023

音楽をお届けすることで、
「子ども達」「先生」「地域の皆様」の絆をより深めるきっかけになってほしい。
そんな願いを込め、村上三絃道は伝統の音と、触れ合う子ども達の笑顔と、
それを見守る地域の笑顔を結び続けます。

2023 開催校

■都城市	日時/令和5年9月19日(火)	会場/都城市立夏尾中学校体育館
■諸塚村	日時/令和5年10月28日(土)	会場/諸塚村中央公民館
■椎葉村	日時/令和5年11月29日(水)	会場/椎葉村立椎葉小学校
■西都市	日時/令和5年12月7日(木)	会場/西都市立茶臼原小学校
■串間市	日時/令和6年2月20日(火)	会場/串間市立北方小学校

主催/学校と地域を結ぶコンサート実行委員会
協力/都城市教育委員会、諸塚村教育委員会、椎葉村教育委員会、
西都市教育委員会、串間市教育委員会

お問い合わせ/村上三絃道事務局
〒880-0835 宮崎県宮崎市阿波岐原町前浜4276-626
TEL 0985-27-6628 / FAX 0985-27-6681
E-mail info@sangen.com / URL www.sangen.com



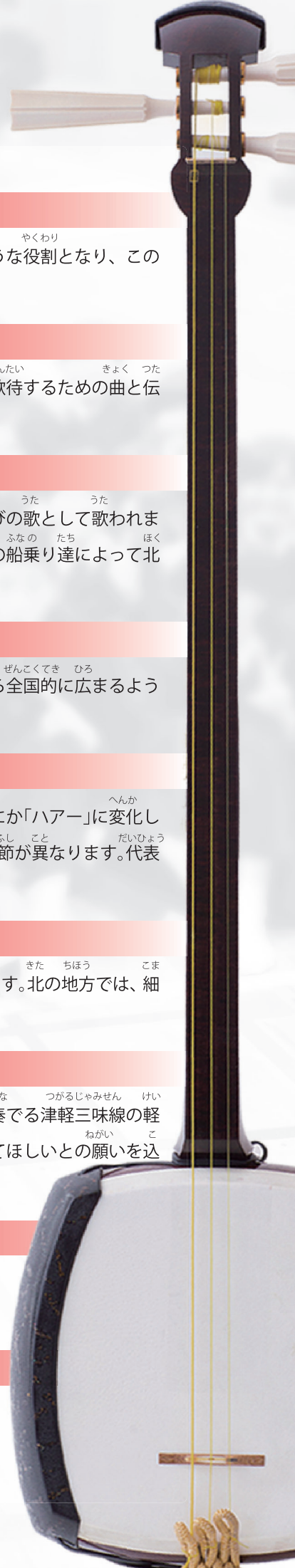
協賛/宮崎空港ビル株式会社、MRT宮崎放送、宮崎ガス株式会社、株式会社戸高コーポレーション、株式会社宮崎南印刷
宮崎総合学院、社会医療法人慶明会、金田礼子ひふ科医院、宮崎日日新聞社、株式会社マエムラ、株式会社ミネックス、
平和リース株式会社、UMKテレビ宮崎、株式会社佐藤産業、株式会社共立電機製作所、株式会社文化コーポレーション
宮崎総合警備株式会社、医療法人社団佐藤小児科 ※順不同

コンサートプログラム

Concert program

曲のご紹介

Introduction of the song



津軽の響き

01 津軽三味線合奏曲「じょんがら」

風が運んだ日本のメロディ

02 谷茶前節(沖縄)

03 牛深ハイヤ節(熊本)

04 阿波踊り「よしこの」(徳島)

05 佐渡おけさ(新潟)

06 津軽あいや節(青森)

楽器紹介

学校と地域を結ぶ唄

07 都城市 安久節

諸塚村 諸塚駄賃付け唄

椎葉村 椎葉秋節

西都市 西都音頭

串間市 串間音頭

※曲目は変更がある場合がございます。

08 えいえい！えいさー！

休憩

サプライズコーナー

09 人気の1曲

チャレンジ・ザ・和楽器

10 ソーラン節(北海道)

11 太陽じょんがら

津軽三味線

12 津軽じょんがら節曲弾き

演奏者のご紹介 ※コンサートでは3名での演奏となります。



三代目家元 **村上由宇月** -むらかみ ゆうづき-
宮崎市生まれ。2019年8月に3代目家元を継承。三味線の他に横笛、太鼓、民謡や洋楽もこなし、幅広い活動を展開。海外での演奏も多数。ラジオのパーソナリティとしても活躍中。新たな楽曲の制作も行い、伝統の世界に新風を吹き込んでいる。スクールコンサートでは校歌やリクエスト曲の数々をアレンジし披露、好評を得ている。



総師範 **村上 肇映** -むらかみ かい-
熊本県人吉市生まれ。小学校時代の担任の先生が、村上三絃道師範だったことから津軽三味線と出会う。学業と両立しながら三味線の技を極め、現在は村上三絃道の主力メンバーとして多数の演奏家を育成し、国内外で活躍。ジャンルの越えた三味線音楽を手がけ新しい世界を作っている。座右の銘は「継続は力なり」



総師範 **村上 肇陽** -むらかみ かよう-
熊本県人吉市生まれ。8歳で村上三絃道入門。数々の大舞台でリーダーとして出演。三味線、民謡、太鼓など、後進の指導に当たる傍ら、スクールコンサートや多くのステージで活躍中。



師 範 **村上由希愛** -むらかみ ゆきな-
都城市生まれ。幼い頃より日本舞踊を学び12歳で村上三絃道入門。二代目家元のもとで三味線、民謡、太鼓を習得。各種イベント、コンサート、ボランティア活動に励んでいる。また、民謡だけにとどまらず、歌謡曲選手権での優勝実績も持ち、村上三絃道の舞台をより華やかにしている。

津軽三味線の歴史

げんがつき れきし ふる ちゅうおう
弦楽器の歴史は古く、中央アジアからシルクロードをへ ちゅうごくたいりく つた ぼとうきん こきゅう かたち へんか
経て中国大陸へと伝わり、馬頭琴、胡弓と形を変化させ、やがて14世紀(6～7百年前)に琉球諸国へと伝わり、三線が生まれます。16世紀末に堺商人により本ど でんらい きたまえぶね つがる ち つ
土に伝来し、北前船によって津軽の地にたどり着き、「津軽三味線」になったといわれています。棹が太く、ぜんたいでき おお つがるじやみせん ふか おも ね
全体的に大きい「津軽三味線」は、深く重みのある音いろ だいおんりょう だ はくりよく
色でかなり大音量を出すことができるので、迫力あるえんそう かのう
演奏が可能です。

津軽じょんがら節

つがるじやみせん だいひょうきょく えんそうしや か こえ しきしや やくわり
津軽三味線の代表曲です。演奏者のリーダーが掛ける「ハッ」という声オーケストラの指揮者のような役割となり、この声でテンポや呼吸を合わせていきます。演奏者のバチの動きにもご注目ください。

谷茶前節(沖縄)

おきなわけんおんなそん かいがん りょう だいざい おきなわみんよう ねん まえ まんざもう た よ りゅうきゅうおう かんたい きょく つた
沖縄県恩納村の海岸で漁を題材とした沖縄民謡です。250年ほど前に万座毛に立ち寄った琉球王を歓待するための曲と伝えられています。

牛深ハイヤ節(熊本)

おきなわちほう みなみかぜ みなみかぜ ふ にしまわ はんせん にほんかい で とき よろこ うた うた
ハエは沖縄地方では南風のごとで、南風が吹くと西回りの帆船が日本海に出ることができるとして歌われま
いっぼう おりりょうし てんき かいふく かせ ま たいくつ うた ぶし はんせん ふなの たち ほく
した。一方、しけの折、漁師が天気の回復(風)待ちの退屈のぎに歌われました。「ハイヤ節」は、帆船の船乗り達によって北
じょう かくち みなと つた
上し、各地の港に伝えられました。

阿波踊り「よしこの」(徳島)

あ わ おど とくしま
ハイヤ節が変化して歌われたものです。昭和初めに、お鯉さんがNHK大阪に招かれ、歌ったことから全国的に広まるようになりました。

佐渡おけさ(新潟)

ぶし にほんかい ほくじょう えちご ほと うた だ ま へんか
ハイヤ節が日本海を北上し越後に運ばれ、歌い出しの「ハイヤエー」が「オケサー」となり、いつの間にか「ハア」に変化した
いっぼう ながおか さんじょう いずもざきてらどまりかしわざき あいかわ おぎ とち ぶし こと だいひょう
たものです。おけさは、新潟、長岡、三条、出雲崎、寺泊、柏崎などのほか相川、小木などの土地によって節が異なります。代表
てき さど
的なものが佐渡おけさです。

津軽あいや節(青森)

ぶし にほんかい ほくじょう とうほくちほう ぶし つがるじやみせん ぼんそう うた きた ちほう こま
ハイヤ節が日本海を北上して、東北地方では「あいや節」になりました。津軽三味線の伴奏で歌われます。北の地方では、細
こぶし うた とくちょう
かい小節で歌われているのが特徴です。

えいえい！えいさー！(オリジナル曲)

あおぞら した こえ ところ ちから ひ あ みやざき つなひき みやざき ち かな つがるじやみせん けい
青空の下、「えいえい！えいさー！」の声に心と力の一つにして引き合う宮崎の綱引き。宮崎の地で奏でる津軽三味線の軽
かい の こ おとな ふるさとみやざき ひ か こえ いっぼ ふ だ ちから ねがい こ
快なリズムに乗せて、子どもたちにも大人にも、故郷宮崎のあの日の掛け声を一歩踏み出す力にしてほしいとの願いを込
いつきょく
めた一曲です。

ソーラン節(北海道)

ほっかいどうにしんりょう ねむけ ひろう ふ と か こえ
北海道の鯨漁で眠気 や疲労を吹き飛ばすために「ソーラン、ソーラン」と掛け声をかけ、
はげ あ さぎょううた ねん くみきんぼちせんせい いちやくゆうめい ぜんてく ひる
励まし合う作業唄。ドラマ「3年B組金八先生」で一躍有名となり、全国に広まりました。

太陽じょんがら(オリジナル曲)

つがるじやみせん あ けいかい きょく あたら せかい かも だ
ラテンのリズムに津軽三味線を合わせた軽快な曲で、新しい世界を醸し出します。
じょうねつたいよう きび ふうせつ と げんき あた
情熱の太陽が厳しい風雪を溶かして“元氣”を与えてくれます。